

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年7月23日 No.67

あと10日! 目標達成へ全力をあげよう!

代表派遣、資材普及で最終盤の押し上げを!

世界大会まであと10日。50周年を迎えた国民平和行進は各地で歓迎され、一路広島に向け歩き続けています。草の根からの学習を力に代表派遣、募金運動がすすめられ、各地の青年たちが「21万羽おりづるプロジェクト」とむすんでバスツアーなどで世界大会に結集しようとしています。これらの勢いをもう二回り三回り広げにひろげ、歴史的大会を成功させるため全都道府県、全中央団体の総力をあげられるようお願いします。

3県が2000年以後最高を突破!!

7月22日現在、静岡(109名)、和歌山(71名)、鹿児島(40名)の3県が2000年以後最大の代表派遣目標数を突破してきました。

みかんの旅 - 60名でバス2台派遣

静岡

静岡県原水協は2000年以後最高の100名を目標にとりくみをすすめています。22日現在、109名を突破。青年・学生を先頭に「みかんの旅」と銘打った広島へのバスツアーにすでに、60名が応募、参加者一人ひとりをはじめ、大人の部隊も募金運動に精力的に行動しています。

登校時の学生や高校生にビラをまき、宣伝するなかで30人余が応募してきました。事前に顔合わせも必要と、これまで大会パンフにもとづく学習会や被爆者から被爆体験を聞く会などに誘い、「原爆のことに直接ふれることがなかったので勉強したい」と次々参加者が増えてきました。「みかんの旅」広島ツアーは目標80名、何としてもやりとげようと奮闘中です。参加費を集めるために、青年たちは、九条の会、年金者組合などなど集まりがあるところに積極的に出かけ、募金運動をすすめています。

静岡では、予約している「JRのぞみ」号を満杯にしなければならず、青年だけでなく一般代表派遣にも、最小限あと13名確保へさらに全力をあげています。

青年先頭に2000年以後最高を更新

和歌山

和歌山県原水協も70名の2000年以後最高数を突破し今71名。そのうち青年(ピースネットわかやま)が18名で、全県を引っ張っています。



ピースネットの青年たちは、この間4回にわたって和歌山駅前などで、「21万羽おりづるプロジェクト」行動、宣伝と“おり鶴行動”をおこなってきました。目標5000羽に対し、いま3250羽。折った鶴を布に張って横断幕を作成。「亡くなった21万人ってすごい数だったんだね」と新たな決意でさらに行動を強めています。

民医連は8人全員が20歳代です。日高地域原水協では、昨年ゼロで今年は10人が参加、引率教師と高校生が参加します。